

治山林道協会報

第38回治山林道写真コンクール

最優秀賞 野口美佳

目次

CONTENTS

- 第64回通常総会開催 … 1
- 林野公共事業予算に関する要望活動 … 3
- 令和4年度治山・林道四国地区協議会開催 … 5
- 第34回施工委員会開催 … 7
- 令和4年度施工管理技術基本研修会開催 … 13
- 令和4年度森林土木総合技術研修開催 … 14
- お知らせ(令和4年度治山林道技術研修会) … 14
- 県人事異動 … 14
- 第38回治山林道写真コンクール受賞者発表 … 15
- 「森林土木工事」魅力発信PR動画の作製 … 15
- 本協会の主な動向(4月~10月) … 15
- 編集後記 … 15

第64回 通常総会 開催



山口会長挨拶

第六十四回徳島県治山林道協会通常総会が、七月十一日徳島市の徳島県建設センターにおきまして、関係者約九〇名の参加により開催されました。

今年度の総会は、数日前に安倍元総理が凶弾に倒れるといった驚天動地の悲惨な事件が起こった中、また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ではありましたが、ご来賓として林野庁森林整備部整備課長 石田良行様、徳島県副知事 勝野美江様、徳島県議会議長 南恒生様をはじめ多くの方々にご臨席いただきました。

冒頭で山口会長より、国土強靱化対策等に係る林野公共予算の確保及び今年度補正予算に関する話題を交えた挨拶の後、議事につきましては、後藤副会長が議長に就き、議案第一号「令和三年度事業報告並びに収支決算の承認について」、議案第二号「令和四年度事業計画並びに収支予算の承認について」、議案第三号「令和四年度借入金 の最高限度額の承認について」、議案第四号「役員の一部改選について」、議案第五号「その他」についてご審議いただき、いずれも原案どおりに承認をいただきました。

また、議事に先立ち、林道維持管理を始め、治山林道工事等において功績のあった方々を表彰する式典が行われました。今回の表彰は、第四十四回林道優良維持管理者の知事表彰並びに治山林道協会会長表彰、令和三年度優良工事施工者表彰の治山部門・林道部門・森林整備部門の各協会会長表彰を行いました。そして、総会後にこの度の役員改選において退任されました片山喜三郎様に、役員功労表彰規程に基づき、感謝状の贈呈を行いました。

受賞された皆様方に心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍・ご精励を御祈念いたします。

なお、今回の各賞の受賞者の紹介と徳島県治山林道協会の役員名簿は、次のとおりとなっております。



南議長挨拶



勝野副知事挨拶



石田整備課長挨拶



感謝状贈呈



知事表彰

徳島県治山林道協会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長 理事	山口 俊一	衆議院議員
副会長 理事	後藤 正和	神山町長
〃	西村 裕	徳島県建設業協会会長
理事	坂口 博文	那賀町長
〃	藤田 元治	美馬市長
〃	藤井 正助	阿波市長
〃	嘉見 博之	徳島県県議会議員
〃	南 恒生	徳島県県議会議員
〃	平田 茂	徳島県建設業協会 脇町支部長
〃	岡村 純夫	徳島県建設業協会 川島支部長
〃	榊野 千秋	木頭森林組合長
専務 理事	井関 廣幸	事務局
監事	兼西 茂	つるぎ町長
〃	松浦 敬治	東みよし町長
〃	多田 久仁男	徳島県建設業協会 海部支部
顧問	川原 哲博	前副会長理事

任期は令和3年度総会から令和5年度総会まで

第44回 林道優良維持管理者

(知事賞)

管理主体	代表者	路線名
三好市	市長 高井美穂	谷間豊永線

(会長賞)

つるぎ町	町長 兼 西 茂	白井線
------	-------------	-----

令和3年度 優良工事施工者

○ 徳島県治山林道協会会長表彰 治山事業

吉野川市	平山土建(株)	平山朋生
美馬市	(有)原組	原芳弘
神山町	(有)司建工	森下隆司

林道事業

美馬市	南部建設(株)	坂本優子
上勝町	勝浦建設(株)	廣安稔子
那賀町	(株)平谷建設	西原正彦

森林整備事業

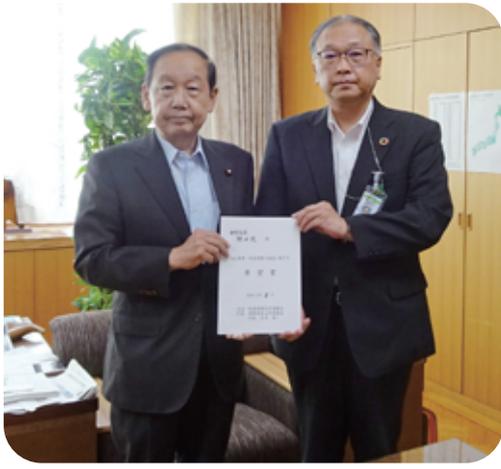
海陽町	海部森林組合	長谷宏昭
-----	--------	------

林野公共事業予算に 関する要望活動

去る八月二十五日、農林水産省林野庁長官室において、山口会長を始め小野施工委員長と各委員らが、織田長官に、令和五年度当初予算に向けた林野公共事業の推進・拡充についての要望を行いました。

山口会長からは、国民の安全・安心な暮らしを

実現する「治山事業」による「緑の国土強靱化」の推進、そして「グリーン成長」の実現を目指すために不可欠な「林道事業」の推進に必要な安定的・継続的な当初予算の確保、及び補正予算のしつかりとした対応についての要望を行いました。



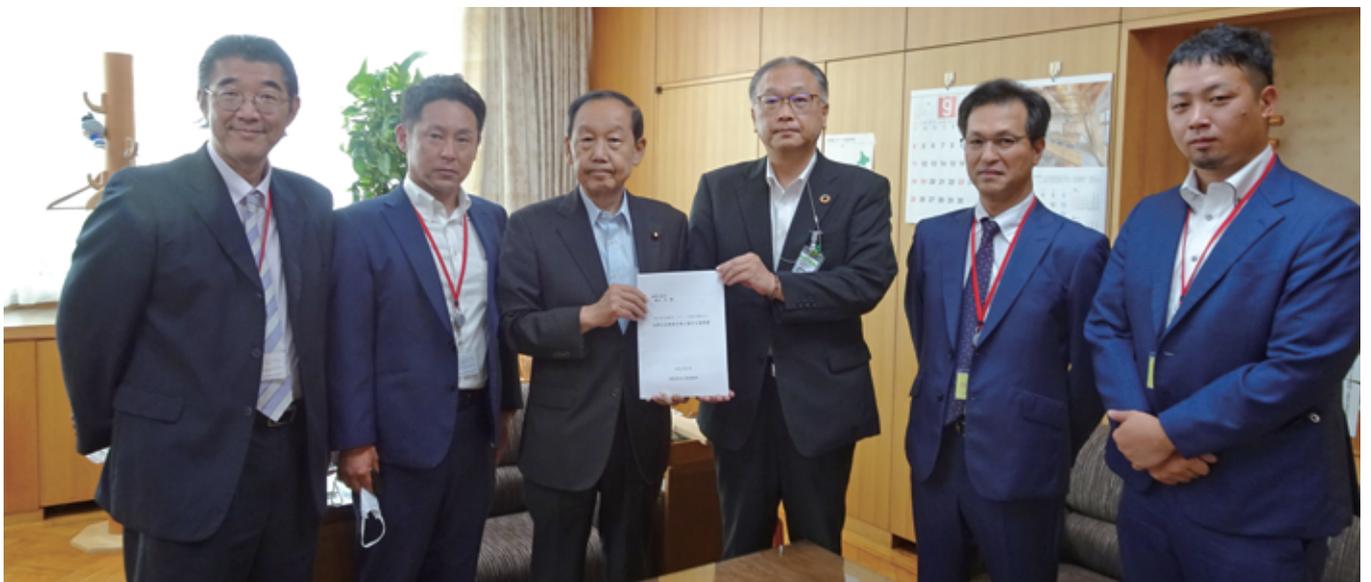
これに対し、織田長官からは、補正予算も大切であるが、当初予算の拡大も重要であると考え、概算要求にしっかりと取り組むとの力強い回答をいただきました。

また、森林整備部長室において、小野施工委員長

が小坂森林整備部長、石田整備課長、箕輪治山課長に対し、徳島県の森林土木事業の現状について説明するとともに、予算確保に向けた要望を行いました。

更には、徳島県選出の国会議員、後藤田衆議院議員、中西参議院議員、三木参議院議員、高野参議院議員に対し、徳島県治山林道協会、及び治山林道四国地区協議会の林野公共事業予算に関する要望を行い、各事項について御理解を頂きました。

要望事項の内容は次のとおりです。



林野庁長官室にて

林野公共事業予算に関する要望書

平素は、治山林道事業の推進並びに本会の活動につきまして、格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も一昨年からの新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない状況が続くとともに、さらにはウクライナ危機が、我が国の社会経済活動に大きな影響を及ぼし、ウッドショックをはじめ、森林・林業を取り巻く現状にも深刻さが増しているところでは、

この様な状況の中、国におかれましては、国土強靱化や林業の成長産業化、地球温暖化防止等の対策を行う林野公共事業予算の確保や五か年加速化対策の予算措置に、迅速かつ継続的に取り組んでいただき、深く敬意を表します。

近年、線状降水帯の発生に伴う記録的な大雨が頻発化し、激甚な山地災害の発生に伴い、多くの尊い人命や貴重な財産が奪われています。

まさに日本列島は、いっどこで大規模な自然災害が発生するか予想がつかない状況

にあり、国民の安全・安心に関する意識は、益々高まってきております。

こうした中、地方においては依然として厳しい財政事情のもと、地方創生実現のため、国産材の安定供給体制の確立に向けた生産基盤の整備や再造林をはじめとする適正な森林管理をより一層推進することが喫緊の課題となっております。

これらに対応するためには、激甚な山地災害等に備える事前防災・減災対策の推進や持続的林業経営に向けた幹線林道整備の加速化など、「緑の国土強靱化」に資する治山林道事業の円滑な遂行が不可欠であります。

つきましては、令和四年度 補正予算並びに令和五年度 当初予算において、次の項目について特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」を着実に推進するために必要な予算を当初予算においても

安定的かつ持続的に確保

○集中豪雨や台風、南海トラフ、活断層帯の地震による大規模災害に備えた事前防災・減災対策、復旧対策の充実と強化を図る「緑の国土強靱化」の推進

○「グリーン成長」の実現を目指した「森林吸収源対策」の強化や「林業の成長産業化」に資する林道を核とした路網整備の推進

○山間奥地、急斜面等条件不利地での施工における設計積算について更なる見直しによる現場条件に応じた適切な費用の確保

○中山間地域における建設業者への若者等の就業を促進するための人材育成等の環境整備

令和四年八月

徳島県治山林道協会

会長 山口 俊一

令和4年度 治山・林道四国地区協議会開催

令和四年度 治山・林道四国地区協議会が、令和四年五月二十三日、徳島市ザ・グランドパレス徳島において、来賓を招き、四国地区の行政及び協会関係者参加のもと盛大に開催されました。

本協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、三年ぶりの開催となりましたが、山口会長の挨拶で始まり、来賓挨拶に続き、令和四年度 治山林道事業に関する要望事項を対面形式により、活発な意見交換で取りまとめることができました。また、林野庁箕輪治山課長と日本治山林道事業の推進に関する話題提供をいただきました。

今回お忙しい中、来賓としてご出席いただいた方々は次のとおりです。

林野庁森林整備部治山課 箕輪課長様 蓮尾課長補佐様、徳島県農林水産部平井部長様、田中森林整備課長様、日本治山治水協会 津元専務理事様が来賓としてご出席されました。

今後とも協会としましては、この様な機会を通じて、国や県への予算獲得に向けた要望や政策提言を行って参りたいと考えております。

なお、今回取りまとめた要望書につきましては、令和四年八月末に、林野庁長官、林野庁関係各課、財務省主計局、県選出国会議員に要望活動を行い、各事項についてご理解をいただきました。



協議会開催状況



山口会長挨拶



審議状況



令和4年5月23日に徳島県において治山・林道四国地区協議会を開催し、治山・林道の各事業における次の事項について要望することを決定しました。

新型コロナウイルスの感染拡大に加え、このたびのウクライナ危機は、我が国の社会経済活動にも大きな影響を及ぼし、森林・林業・木材産業においても、いわゆる「ウッドショック」と呼ばれる状況をはじめ、燃油や資材価格の高騰など、厳しさが増しているところです。

こうした中、地方においては依然として厳しい財政事情のもと、山地災害の復旧はもとより、災害に強い森林づくりを進める治山対策や、木材供給の安定化に向けた林道を核とする路網整備の推進に努めております。

一方、国におかれましては、カーボンニュートラルに向けた森林・林業・木材産業による「グリーン成長の実現」を図る林野公共事業予算の確保や、5か年加速化対策の予算を講じられるとともに、緊急経済対策にも迅速かつ継続して取り組まれておられますことに深く敬意を表します。

つきましては、近年頻発化する集中豪雨や、近い将来発生が予想される「南海トラフ巨大地震」等による激甚な災害に備えるとともに、林業の再生と山村地域の活性化に向けた、治山・林道事業等の予算確保並びに地方負担軽減による事業の円滑な実施に特段のご高配を賜りたく要望します。

治山・林道四国地区協議会

香川県森林協会	会長	宮本欣貞
愛媛県森林土木協会	会長	兵頭誠亀
(一社)高知県山林協会	会長	池田三男
徳島県治山林道協会	会長	山口俊一

第三十四回施工委員会開催

第三十四回施工委員会が六月三日、徳島市の徳島県建設センターにおいて、開催されました。今年度においても、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、参加人数を調整し、感染予防対策を徹底した上で開催しました。

徳島県からは田中森林整備課長をはじめ、各県民局の代表者らが出席し、まず、県森林整備課担当者から令和三年度の四国地域ブロックの要望事項に対しての林野庁見解、及び今年度から導入された「働き方改革の推進」をはじめとした入札・契約制度の改正点についての説明がありました。

続いて県内各支部の改善要望事項について、各委員から説明後、県担当者から改善に向けての回答がありました。近年、技術面や施工歩掛・管理、工事環境、また入札・契約制度が変化する中で、その早い変化に対応できず、現場が非常に苦慮する事態が生じています。このため、当委員会において、現場の実情を共有する体制を整え、適正に対応できるよう進めてまいりたいと考えております。令和四年度改善要望についての見解は次のとおりです。

令和四年度 改善要望についての見解

改善要望事項

I 治山・林道共通事項

1 建設資材などの急激な価格上昇時の対応について【吉野川、美馬、美波】

新型コロナウイルス感染症や社会情勢等により、燃料費や資材の価格上昇に伴い受注者側の経費負担が増加しており、受注時の設計単価との乖離がみられる。

このため、受注後においても、著しい資材高騰が見受けられる場合には、発注者側とスムーズな協議が実行出来る体制を整えていただきたい。

特に、生コン単価については、本年4月からセメントメーカーの値上げも実行され生コン単価が1割以上の値上げとなっているが、物価調査会等の調査を待たずして、徳島県として、工事発注前に資材物品の単価調査（見積調査）が実行可能としていただきたい。

2 難工事について

【徳島】
昨年度より、難工事指定の制度運用が始まったが、どのような条件で難工

見

発注後に資材単価に乖離が生じた場合は、受注者からの請求により、徳島県公共工事請負契約約款のスライド条項に基づき迅速に対応して参ります。

難工事は、各管内における入札不調の状況や地域特性に応じて指定するもの

解



事に指定されるのかご教示願いたい。

特に治山の山腹工事などは、難工事に含まれると思われるが、今後どのようにになるのか併せてご教示願いたい。

3 時間的制約補正の条件改定について

【吉野川】

森林整備保全事業設計積算要領の臨時改定の中で、時間的制約状況の程度に対応した補正となっているが、集散場所から具体的にどの位の時間か、ご教示願いたい。

4 残土の運搬及び小型バックホウの設計について

【美馬】

車輛（4t・2t）及び機械の選定について、現場条件に応じた適切な設計積算を行っていただきたい。

5 支障木伐採後の集積作業に係る費用について

【美馬】

伐採後、重機等で作業が出来ない山腹・水路・広域な残土処理場等における集積作業は時間を費やし、受注者側の負担となっているため、実情に見合った費用を計上していただきたい。

6 コンクリートポンプ車打設時の生コンクリートの設計スランプ等について

【美波】

令和3年度の林野直轄（四国管内）発注工事において、コンクリート構造物（無筋）のコンクリートポンプ車打設の設計スランプは、8cmから12cmへ、骨材径は、40から25（20）へと変更され標準設計となっているが、現場の生産性向上とより実態にあった品質確保に向けて、徳島県発注工事においても、設計スランプを12cm（骨材径25（20））が標準設計に移行願いたい。

であります。具体的には、工事に使用する資材等の搬入に時間を要する、又は工事の施工に係る期間等に制約があるなどで、作業効率が著しく低下する工事に該当し、「入札への参加が敬遠される恐れのある工事」を指します。

なお、治山・林道工事は、地形が急峻・狭隘な場所での施工となることから、現場の条件に基づいた指定となるよう検討して参ります。

現地集散場所から施工現場までの徒歩による往復時間が30分以上を要する箇所が対象となります。

現場条件に応じた機械を選定し、適切な設計積算に努めます。

実情に見合った設計積算が出来るよう、費用の計上方法を検討しているところです。

【流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン】では、「一般的な鉄筋コンクリート構造物においては、スランプ値は12cmとすることとを標準とする」とされており、無筋コンクリート構造物に関しては対象外であることから、スランプ値8cm、骨材4mmが標準設計となります。

なお、現場状況等によりスランプ値及び骨材の変更を必要とする場合は、監督員と協議してください。

7 高齢作業員若しくは外国人労働者雇用に対するインセンティブの付与の検討について 【美波】

郡部では若年層の転出と作業員の高齢化が進む中、求人案内を行っても採用に至らないのが現状であり、若年層の雇用もままならない状況下で、高齢作業員の雇用を継続して行かざるを得ないのが現実である。

政府においては、定年退職年齢を65歳以上に引き伸ばすことを企業に求めているが、徳島県においても、高齢作業員の継続雇用と外国人労働者の雇いを推奨し、受注者に何らかのインセンティブの付与の検討をお願いしたい。

地域の建設業が深刻な担い手不足にあることは認識しており、「地域の守り手」となる建設産業の健全な発展を促す観点から入札・契約制度等の改正を行っているところです。

また、関係課にも確認したところ、現行では、高齢者継続雇用、外国人雇用について、工事成績評定の加点など、何らかのインセンティブの付与は難しいと考えます。

しかしながら、中山間地域における建設業は非常に重要と考えており、将来の建設業を支える担い手の確保として、特に若者の就業を促す支援策について検討しているところです。

8 週休2日制導入時の人件費の増額に伴う歩掛け調査について 【美波】

担い手確保モデル工事として週休2日制導入に取り組んでいるところであるが、設計上の労務費に乗じる補正係数は1.05となっている。

しかしながら、施工箇所が山間地でもあり、設計書での歩掛け人工員数より1割～1.5割程度増員する状況もあり、現状の補正係数（1.05）では人件費の増額も含め、吸収出来ない工事案件もあるのが実情となっている。このため、各工種毎の歩掛け調査等の対応をお願いしたい。

週休2日制に対する補正係数については、治山林道必携に基づき適用しており、独自の調整率加算等については困難であります。なお、今回いただきました要望については、機会がある毎に国へ伝えて行くとともに、現場の実情に見合ったよりきめ細かな設計積算に努めます。

9 ゼロ国債の導入について 【徳島】

今年度より、治山林道工事において、当初ゼロ国債制度が導入されたが、具体的にどのようなものか、メリットデメリットについてご教示願いたい。

当初ゼロ国債とは、契約はその年度内に行うが、予算の執行は翌年度以降となる、一種の予算を先取りする制度となります。メリットとして、発注・施工時期の平準化が図られること。デメリットとしては、翌年度予算のため、当該年度に前金などが支払えないところです。

Ⅱ 治山事業

1 治山工事における（仮設工）乗用モノレール設置の標準化について

【徳島、吉野川、三好、美波】

治山工事においては、山間遠隔地かつ急傾斜地での施工が多く、通勤車から降車後、現場までの通勤時間が徒歩で30分以上要する作業環境が厳しい条件下にある現場もある。

これらのことから肉体的な労働環境を少しでも改善するため、作業員輸送を目的とした乗用モノレールの設置基準、並びに歩掛及び単価等を徳島県独自で制定し、現場条件により設計積算が可能となるよう検討をお願いしたい。

2 治山工事にかかる支障木の費用について

【徳島、三好、那賀】

治山工事の支障木については、現在、伐採、玉切り、集積は設計に計上されているが、実際は伐採後の玉切り、枝条の片付け、積み込み運搬等伐採後の作業が生じ、これらの経費は、実質受注者が負担しているのが現状である。

このため、現場から近接する土場までの搬出を含め、実際に掛かる費用を調査の上、適切に設計計上出来るよう検討をお願いしたい。

3 ケーブルクレーンの見積もり参考資料について

【美馬】

ケーブルクレーンの見積もりに必要な、見積もり参考資料にケーブルクレーンの共用日数の明記がないため、正確な見積もりが出来ないので、共用日数を明記していただきたい。

4 木柵工の材料について

【美馬】

木柵工の丸太柵材を間伐材で施工しているが、径寸法が不揃いで横木を設置しても隙間が出来るなど見栄えが良くない。

このため、県産材の製材円柱丸太を使用した設計計上出来るよう検討をお願いしたい。

県独自のモノレール設置基準の策定作業を進めており、整い次第、運用を開始いたします。

現場毎の実情に見合った設計積算が出来るよう、費用の計上方法を検討しているところです。

見積り参考資料へ共用日数の明記を行います。

木柵工・筋工に関しては、素材丸太による施工を原則としておりますが、県産材を使用した丸棒加工材についても検討します。

5 治山ダムにおける均し基礎コンクリートの計上について

【三好】

治山ダムの床掘完了後、床面岩盤が脆弱であったり、あるいは岩盤がない場合、型枠がコンクリートの自重により浮き上がりが発生し易いため、床面に均し基礎コンクリートを施工する必要があるが、現在はこれを施工者の創意工夫として扱っている。

しかしながら、これは施工上必要な処置であるため、設計計上出来るよう検討をお願いしたい。

型枠設置時に、均し基礎コンクリートの施工が必要と認められる場合は、設計計上が可能ですので監督員と協議してください。

Ⅲ 林道事業

1 林道開設工事の残土運搬について

【徳島】

林道開設工事で残土運搬を行う場合、大型ダンプの回転場が少なく、小型ダンプにより実施している。

このため、作業効率が向上出来るよう、大型ダンプの回転場の設置を検討していただきたい。

円滑に工事が施工出来るよう、回転場や資材置き場等の確保に努めます。

2 林道工事における支障木の伐採・搬出について

【那賀】

残土処理場等のように支障木が密集している箇所では、林業用機械等を用いて、伐採・玉切り・運搬を行っているが、これらの費用を設計に計上出来るよう検討していただきたい。

残土処理場等の広範囲な箇所での支障木の集積にかかる費用については、設計計上の方法等を検討しているところです。

3 林道工事における路面補修等について

【美波】

林道工事において、資材搬入時には大型車輛の通行もあるため路面補修などが必要となる。路面補修もさることながら林道脇の枝葉が生い茂り大型車輛の通行ができない状況になっている場合もあり、安全に通行出来る林道整

路面補修については、現場の状況に応じて設計計上が可能なる場合もあることから、監督員と協議してください。また、林道脇の枝葉の伐開については、林道管理者と協議してください。

備に必要な路面整正及び伐開費用の追加も含め別途積上げ積算も考慮願いた
い。

4 現場打擁壁の法勾配について

【美馬】

現場打擁壁の法勾配は、擁壁の高さによって違うため、施工性のみならず、
見栄えも良くない。このため、設計の段階で法勾配が統一出来るよう検討し
ていただきたい。

現場打擁壁工の法勾配については、経済性の観点から箇所ごとに一律に統一
することは困難です。

以上の改善要望事項十八件につきましては、速やかに今後の事
業執行に反映されるよう進めることとなりました。

特に治山現場における乗用モノレールの設置基準や支障木の費
用について、今年度中に検討を進めるとの前向きな回答が得られ
ました。

また、委員会後の意見交換会においては、各県民局から管内の
状況についての報告があり、これらの話題提供をもとに、ヘルパー
活動を通じた新規事業地の掘
り起こしや林道の維持管理な
どについて、活発な意見交換
が行われました。

今後とも各支部からの改善
要望事項をもとに、中央会の
技術・労働委員会を通じ、林
野庁の関係各課へ改善要望を
行なって参りたいと考えており
ます。



田中森林整備課長挨拶



令和四年度 施工管理技術基本研修会開催

施工管理技術基本研修会を令和四年八月二日に、美馬市穴吹町「清月屋敷」（メイン会場）及び徳島県建設業協会那賀支部（サテライト会場）において、開催しました。

本研修会は、会員の要望により、昨年度から新たに開催しており、治山林道事業に従事する若手技術者等を対象に、業務に係る基礎的な知識・技術等を習得させることにより、施工管理技術の向上および

現場の安全管理の徹底に資することを目的として実施しました。

今年度から受講者数の枠が拡大できるよう、ZOOMを活用したハイブリッド形式を採用することにより、二会場同時進行で研修を実施した結果、昨年度を大幅に超える九〇名の会員が受講することができました。

また、受講者には全国土木施工管理技士会連合会の継続教育学習制度CPDSの受講証明書（4unit）が交付されました。
研修の講師及び概要については次のとおりです。
（敬称は略させていただきます。）

研修Ⅰ チェーンソーの安全操作について

徳島県農林水産総合技術支援センター
高度技術支援課

主査兼係長 林 真紀

治山林道工事を施工するにあたって、支障木の除去等において、チェーンソーの使用は不可欠なものであるため、安全操作や点検に必要な基礎的な知識・技術を習得する。

研修Ⅱ 地すべり対策基礎講座

株式会社メック四国 部長 三瀬 重人

全国有数の地すべり地帯を抱える徳島県におい

て、地すべり対策事業を施工するために必要な基礎的な知識・技術を習得する。

研修Ⅲ 労働安全衛生について

三好労働基準監督署
労働基準監督官 小浦 諒

高所や急傾斜地での施工が中心となる治山林道工事において、労働災害ゼロに向けた危険予知活動等の基礎的な知識・技術を習得する。

研修Ⅳ 施工管理技術について

徳島県農林水産部農林水産基盤整備局
森林整備課
主査兼係長 面田 耕市

治山林道工事を計画的に進め、品質の高い構造物を早く、安く、安全に作るために必要な施工管理の基礎的な知識・技術を習得する。



研修会開催状況



ZOOMによる配信状況

令和四年度 森林土木総合技術研修開催

令和四年九月十五日から十六日までの二日間、徳島県木材利用創造センター小講義室において、令和四年度森林土木総合技術研修を開催しました。

本研修会は、全国森林土木建設業協会が主催で、WEB会議システム「ZOOM」を使用したオンラインセミナー形式で実施していますが、本協会ではプロジェクターを活用した少人数による集合研修として実施しました。

研修カリキュラムでは、林野庁整備課 市川森林土木専門官による「森林土木事業の推進に向けて」の講義をはじめ、(株)コンピュータシステム研究所の松野企画戦略リーダーによる「新担い手三法の改正に伴う変化と対策」などの非常に興味深いテーマでの講義が行われました。

全国で、四八名の参加者のうち、本協会からは九名の会員が受講し、CPDS単位を合計126 unit 交付しました。



お知らせ

令和4年度治山林道技術研修会の開催延期について

今年度の技術研修会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、以下のとおり開催を延期しました。

西部会場

日時：令和4年12月6日(火) 10時～17時
 場所：メイン会場 徳島県建設業協会 三好支部
 (三好市池田町マチ2425-1)
 サテライト会場 清月屋敷
 (美馬市穴吹町穴吹市ノ下100-6)

東部会場

日時：令和4年12月7日(水) 10時～17時
 場所：徳島県建設センター(徳島市富田浜2丁目10)

南部会場

日時：令和4年12月8日(木) 10時～17時
 場所：徳島県建設業協会 那賀支部
 (那賀町吉野字弥八かへ33-2)

*本研修会は、継続教育学習制度(CPDS)の対象で学習プログラム(6 unit)に登録されています。

研修内容

- 森林土木事業におけるドローンの活用
- 土木技術者の原点と今後の対策セミナーⅧ
- 労働安全衛生について ほか

県人事異動

◎西部総合県民局農林水産部(美馬)
 主事(森林整備担当) 香川 周大

(令和4年10月1日付け)
 〓は旧所属

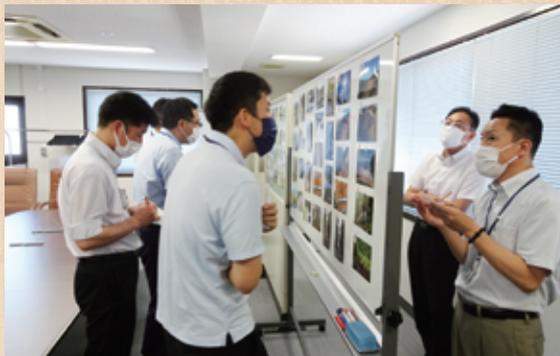
《新規採用》

第38回治山林道写真コンクール受賞者発表

「第38回治山林道写真コンクール」を開催しましたところ、県内在住の幅広い年代の方々から、会心の作品を82点ご応募いただきまして、大変ありがとうございました。

このコンクールは、森林が持つ、「水を育み・災害を防止する」などの公益的機能を維持増進するために実施している治山林道事業をPRするものです。

去る6月7日に、県庁森林整備課担当をはじめとする審査員により、厳正な審査の結果、徳島市の野口様の作品をはじめ9点が入賞しましたので、発表いたします。受賞された皆様方に心からお祝い申し上げます。



入賞者

最優秀賞【1点】

徳島市 野口 美佳

優秀賞【3点】

徳島市 大平 耕史

徳島市 丸田 泰史

徳島市 遠藤 直樹

佳作【5点】

神山町 森下 悟至

那賀町 新居 健一

三好市 酒本 樹

海陽町 多田久仁男

神山町 笠原 慎吾

「森林土木工事」魅力発信PR動画の作製

徳島県森林整備課は、中山間地域の守り手である建設事業者の重要性の理解を深めるとともに、中学生や高校生向けに建設産業の魅力を発信するプロモーション映像を作製します。

9月15日にプレゼンテーション審査会が実施され、①コンセプト・訴求力等の提案内容、②実施体制、③受託実績の視点から審査を行い、「雨を聴く株式会社」が最優秀提案者となりました。

今後、県と連携した出前授業やガイダンスで、この動画を活用し、中山間地域における建設業の担い手対策を実施して参ります。



編集後記

編集責任者
井関 廣幸

新型コロナウイルス感染症の第7波からの収束の兆しがようやく見えてきました。

このような中始まった令和5年度林野公共事業予算の概算要求については、森林整備と治山の両事業ともに、対前年度比では18.4%増となっています。

また、別枠として「国土強靱化5か年加速化対策」と「TPP対策」に、新たに「食料安全保障対策」を加えた事項要求については、今年度補正予算で決着がつくと考えられます。

今後とも、本県の治山林道事業の予算拡大に向け、十分気を引き締めて、取り組んで参りたいと考えておりますので、会員の皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本協会の主な動向（4月～10月）

- 5月 23日(月) 令和4年度治山・林道四国地区協議会(徳島市)
- 6月 3日(金) 第34回施工委員会(徳島市:建設センター)
- 7日(火) 第38回治山林道写真コンクール審査会(徳島市)
- 15日(水) 令和4年度一般社団法人全国森林土木建設業協会定時総会
- 24日(金) 令和4年度公益社団法人徳島森林づくり推進機構通常総会(徳島市)
- 7月 11日(月) 令和4年度徳島県治山林道協会 第1回役員会
- 第64回通常総会(徳島市:建設センター)
- 15日(金) 徳島県山地防災ヘルパー連絡協議会 第26回役員会議(書面決議)
- 28日(木) 令和4年度徳島県森林協会通常総会(徳島市:自治会館)
- 8月 2日(火) 令和4年度施工管理技術基本研修会(メイン会場:美馬市「清月屋敷」)
- (サテライト会場:徳島県建設業協会那賀支部)
- 5日(金) 令和4年度とくしま木づかい県民会議通常総会(徳島市)
- 25日(木) 林野公共事業予算に関する要望活動(東京都:林野庁ほか)
- 9月 14日(水) 令和4年度一般社団法人日本治山治水協会定時総会(東京都)
- 15日(木)・16日(金) 令和4年度森林土木総合技術研修
- (徳島市:徳島県木材利用創造センター)
- 10月 7日(金) 令和4年度施工委員会コンサル関連意見交換会
- (徳島市:建設センター)
- 13日(木)・14日(金) 全国治山林道協会会長会議(山梨県)
- 22日(土)・23日(日) とくしま木づかいフェア2022(板野町:あすたむらんど徳島)